

経営比較分析表（令和2年度決算）

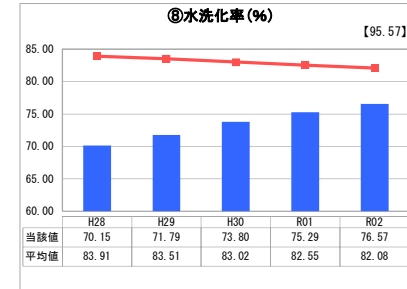
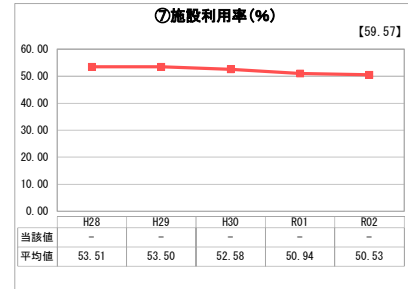
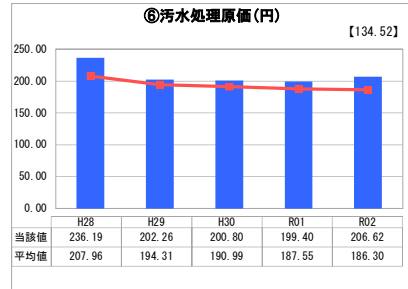
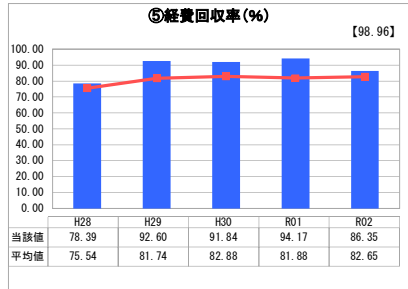
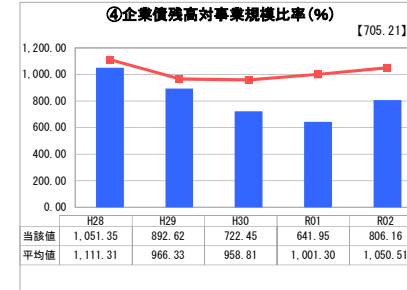
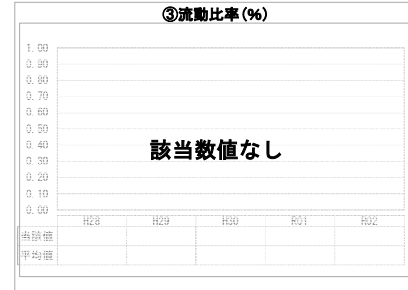
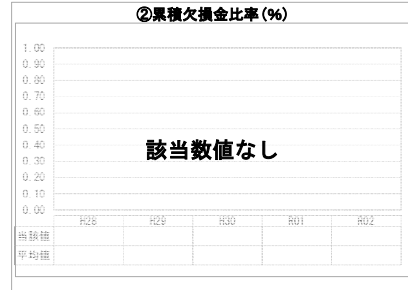
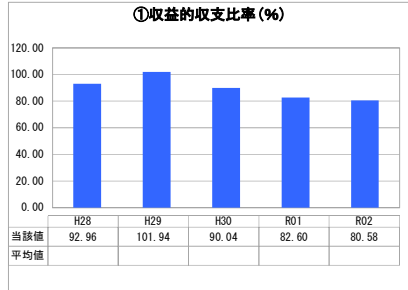
香川県 琴平町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	47.02	96.01	2,860

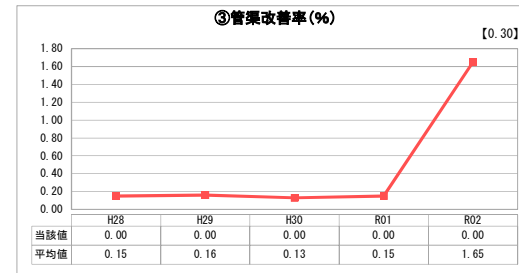
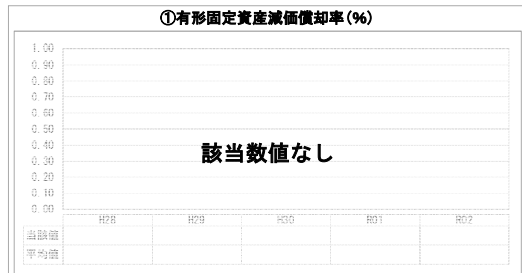
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,814	8.47	1,040.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,118	1.46	2,820.55

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
新型コロナウイルス拡大の影響により、使用料収入が大幅に減少したため引き続き100%を下回った。

④企業債残高対事業規模比率
新型コロナウイルス拡大の影響により、使用料収入が大幅に減少したため比率が上昇したが、収入が回復すれば今後も地方債残高は年々減少していくため、比率は低下していくと予想される。

⑤経費回収率
新型コロナウイルス拡大の影響により、使用料収入が大幅に減少したため比率が低下したが、整備は完了しているため、今後は上昇していくと予想される。

⑥汚水処理原価
新型コロナウイルス拡大の影響による観光客の減少により、有収水量が減少したため、原価が上昇したが、社会情勢が好転すれば改善されると予想される。

⑧水洗化率
下水道接続件数が増加したことで僅かに上昇したが、依然として類似団体平均値を下回っている状態となっている。今後も広報・ホームページ等で下水道未接続の住民に周知し水洗化率を向上させる取り組みをしていく。

2. 老朽化の状況について

琴平町における下水道管渠整備については、昭和62年から平成28年度まで行い、令和2年度においては最長で34年経過している。下水道管渠の標準耐用年数は50年となっているため、標準耐用年数は経過していないが、今後管渠の更新は必要となってくる。そのため、今後の取り組みとして、公営企業会計移行作業が必要とする固定資産台帳整備について管渠の資産価値を把握し、その内容に基づきストックマネジメント計画を定め、管渠の更新を効率的に行っていくこととする。

全体総括

○決算
新型コロナウイルスの蔓延により、観光客が減少し下水道使用料収入が大幅に減少した。この影響が収益的収支比率、経費回収率・汚水処理原価の数値はそれぞれ悪化した。

○今後の見通し
新型コロナウイルスの影響による収入減により、経営状況は悪化したが一時的なものであり、状況が好転すれば回復すると考えられる。今後は経営戦略を改定し、経営の健全化のため、料金改定等について見直しを行う必要がある。また、公営企業会計の移行は令和6年度に予定しており、経営資産等を正確に把握し経営管理を向上していく。汚水処理事業の広域化・共同化については、事務の一元化や維持管理費の削減が出来るかを県及び関係市町で連携し、今後も実現に向けて努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。